

証券コード:8153

日本のおいしさと
おもてなし



モスバーガーのあゆみと 『食』への取り組みについて

株式会社モスフードサービス
代表取締役会長
櫻田 厚

会社概要

- ・会社名 株式会社モスフードサービス
- ・証券コード 8153 (東証1部)
- ・設立 1972年7月21日
- ・資本金 114億1,284万円
- ・代表者 代表取締役会長 櫻田 厚
代表取締役社長 中村 栄輔
- ・キャスト数 社員数(連結) 1,335名[※]
全国総キャスト数 約25,000名
- ・事業内容 フランチャイズ方式による
ハンバーガー専門店
「モスバーガー」の全国展開など

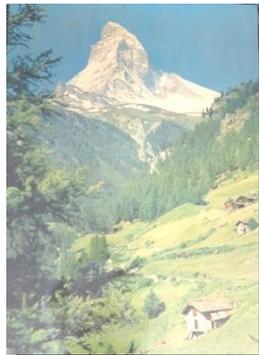
※2017年3月31日現在

社名の由来

Mountain 山のように気高く堂々と

Ocean 海のように深く、広い心で

Sun 太陽のように燃え尽きる
ことのない情熱を持って



外食産業について

■外食産業市場規模

25兆4,000億円

■飲食店総店舗数

618,000店

■外食産業雇用人口（P/A含）

4,230,000人

出所：（一社）日本フードサービス協会2015年度

外食産業の歴史

■外食産業元年

◆1970年

KFCが大阪万博会場に1号店OPEN

◆1971年

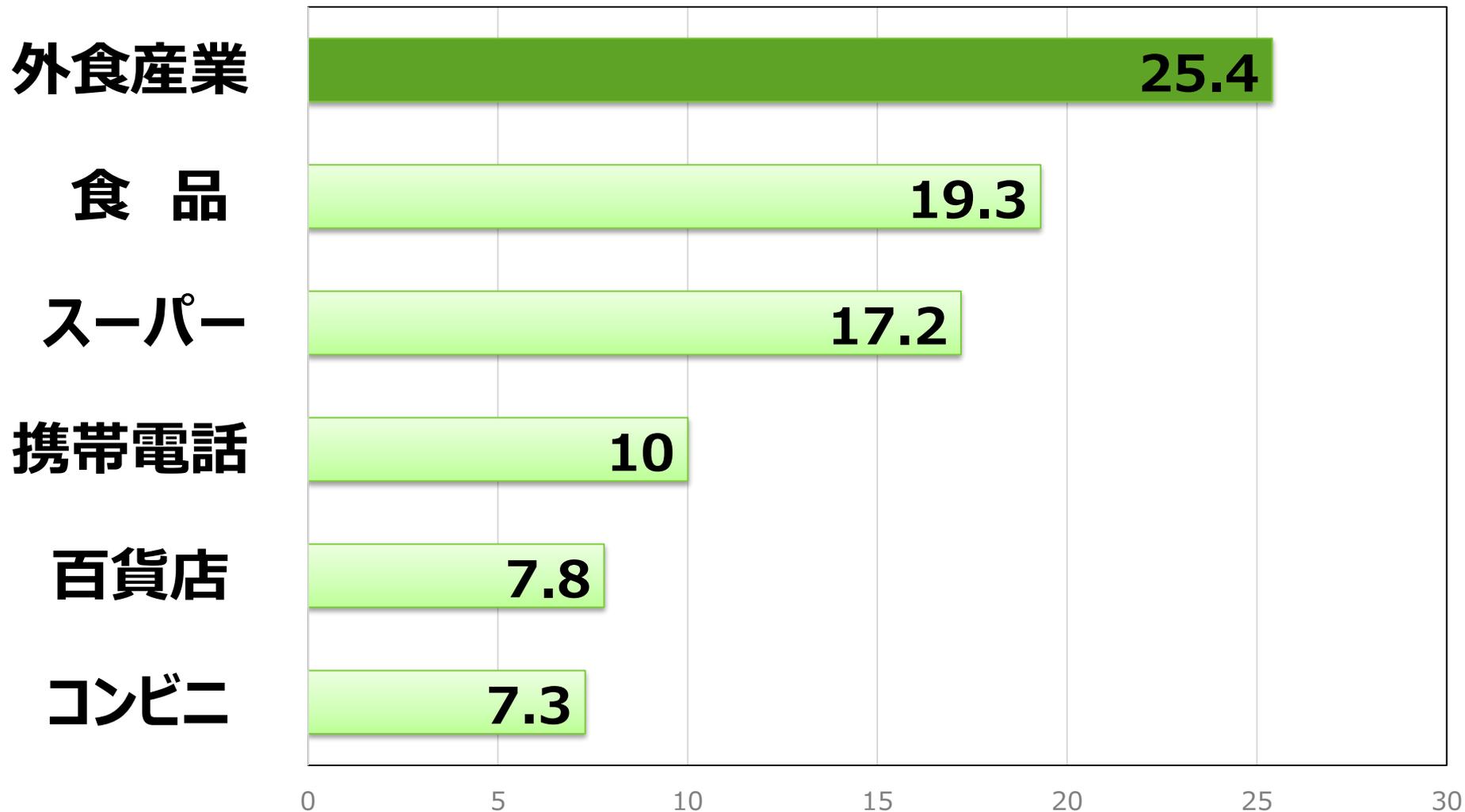
マクドナルドが銀座三越に1号店OPEN

◆1972年

モスが東京都板橋区成増に1号店OPEN

⇒ 飲食業から外食産業へ

他産業との比較



データ出所：業界動向サーチドットコム2015年

(単位：兆円)

モスバーガーのあゆみ

モスバーガーのあゆみ

- 1972年 **成増（東京都）で創業 当社設立**
- 1973年 **フランチャイズ1号店 新瑞店（愛知県）オープン**
- 1985年 **日本証券業協会に株式を店頭公開**
- 1986年 **外食産業として初の全国47都道府県への出店達成**
- 1988年 **東証2部に上場**
- 1991年 **台湾1号店オープン**
- 1996年 **東証1部に指定替え**
- 2004年 **ISO14001の認証を取得（環境マネジメントシステム）**
- 2006年 **農業生産法人を静岡県に設立**
- 2008年 **株式会社ダスキンと資本・業務提携を締結**
- 2012年 **ISO22000の認証を取得（食品安全管理）**
- 2015年 **ミラノ国際博覧会（イタリア）の日本館へ出展**
- 2017年 **農業生産法人7法人目設立（千葉県）**

モスバーガーの成り立ち



創業当時の成増店



現在の成増店



出典：世界新聞



創業者は櫻田 慧

(さくらだ さとし)

「アメリカで味わったとびきりおいしいハンバーガーを
日本の方々に食べてもらいたい！」という思いから
証券会社を脱サラしてモスバーガーを創業

モスバーガーが大切にしていること

「アフターオーダーシステム」

抜群なおいしさのために、注文を受けてから商品を作ります。

「日本の食文化を表現」

日本人の好みにあったハンバーガーを開発します。
日本の農業を応援します。

「医食同源という考え方」

身体によい食材を求め続けます。

「ダイレクトコミュニケーション」

直接対話を大切にします。



モスバーガー国内店舗分布

2018年1月末現在
1351店舗

北海道 53店舗

東北 83店舗

中部 258店舗

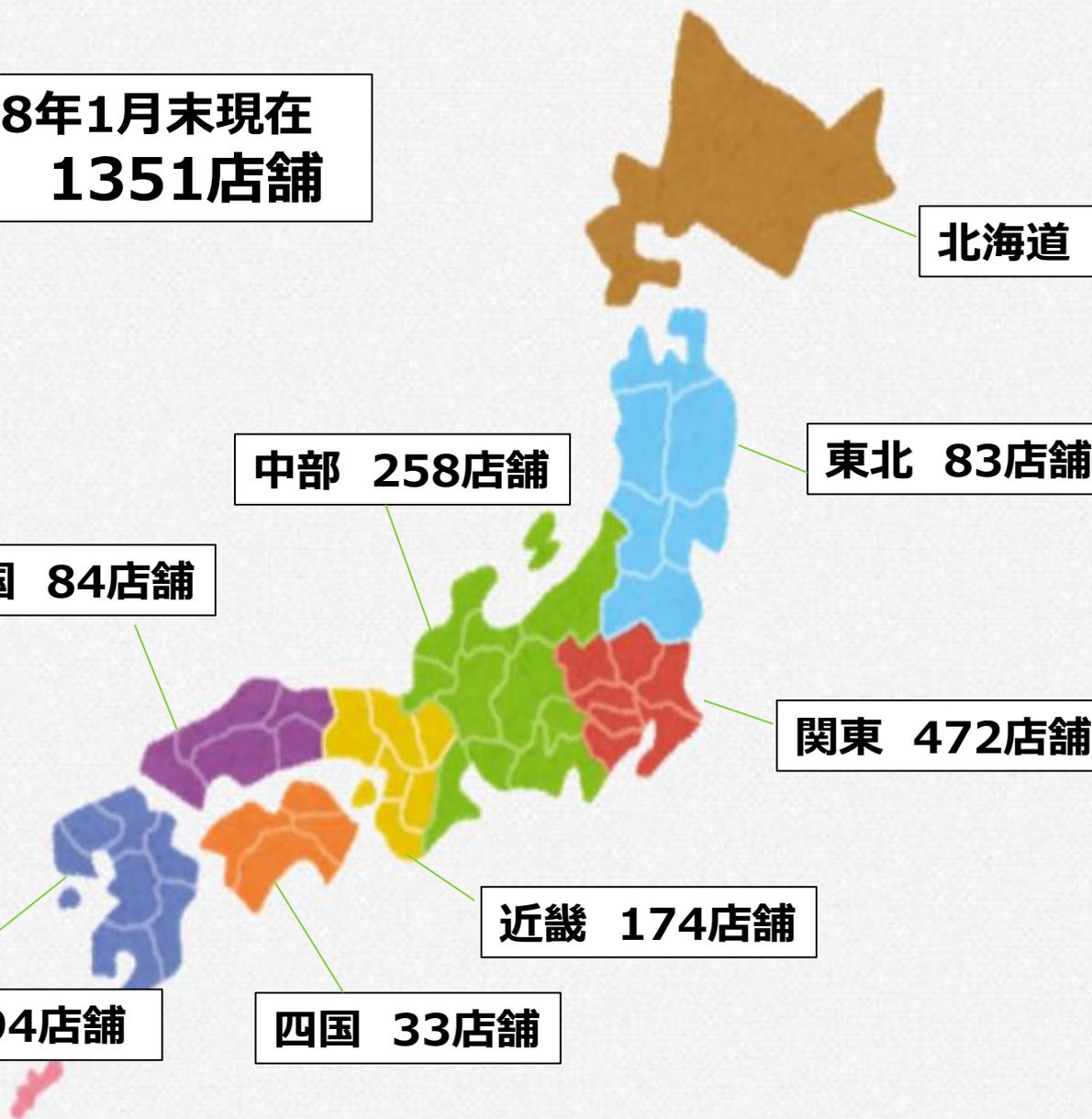
中国 84店舗

関東 472店舗

近畿 174店舗

九州・沖縄 194店舗

四国 33店舗



『食』への取り組み

『食』への取り組み 1

■ モスライスバーガーの開発

1992年
農林水産大臣賞受賞
「お米の全く新しい消費を
拡大した事に対して」

◆ 開発背景

- ・1980年代の米余りの時代に農林水産省から日本フードサービス協会を通じ、米の活用を求められる

◆ 開発過程

- ・焼きおにぎりをヒントに具材をパンの代わりにお米でサンド
- ・初代モスライスバーガーつくね発売まで、開発期間2年
- ・1987年の発売以来、40種類以上の商品を開発

発売当初



初代 焼肉



初代 きんぴら



初代 つくね

現在



焼肉



彩り野菜の
きんぴら

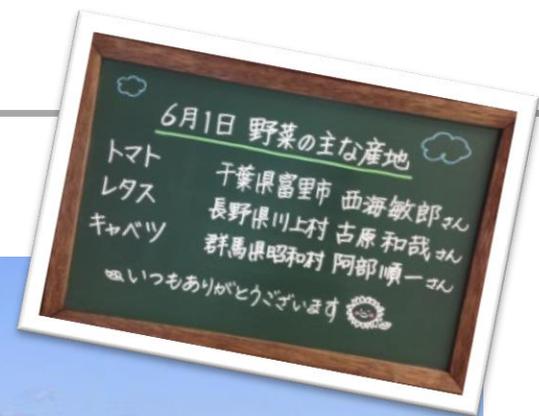


海鮮かきあげ



『食』への取り組み 2

■モスの生野菜



モスの生野菜は国産。
生産者の顔が見える野菜です。
(1997年 取り組み開始)



- ◆ **全国約2,900軒**の協力農家から野菜を調達しています。
- ◆ **減農薬・減化学肥料**を推進し、どのように作ったかをモスのスタッフが確認しています。
- ◆ 生産者と対話する**HATAKEミーティング**も実施しています。
- ◆ **農業後継者の育成**を推進します。

『食』への取り組み 3



■ 農業生産法人の設立

◆ 目的

- ・モスバーガー店舗で使用する生鮮野菜の安定調達
- ・農家の高齢化と後継者不足の解決
- ・耕作放棄地の有効活用

◆ 設立

- 2006年 株式会社モスファームサンブレイス
- 2013年 株式会社モスファーム熊本
- 2014年 株式会社モスファームすずなり
- 株式会社モス・サンファームむかわ
- 2015年 株式会社モスファームマルミツ
- 株式会社モスファーム信州
- 2017年 株式会社モスファーム千葉



『食』への取り組み 4

■ 食育活動

2005年～ 「モスバーガー食育プログラム」 スタート

学校の授業の一環として、
座学のほか、手洗い（衛生）、仕込み、調理、試食などを体験（対象：小学4～6年生）

実施校数累計 693校 41,200名 ※2005年～2018年1月末



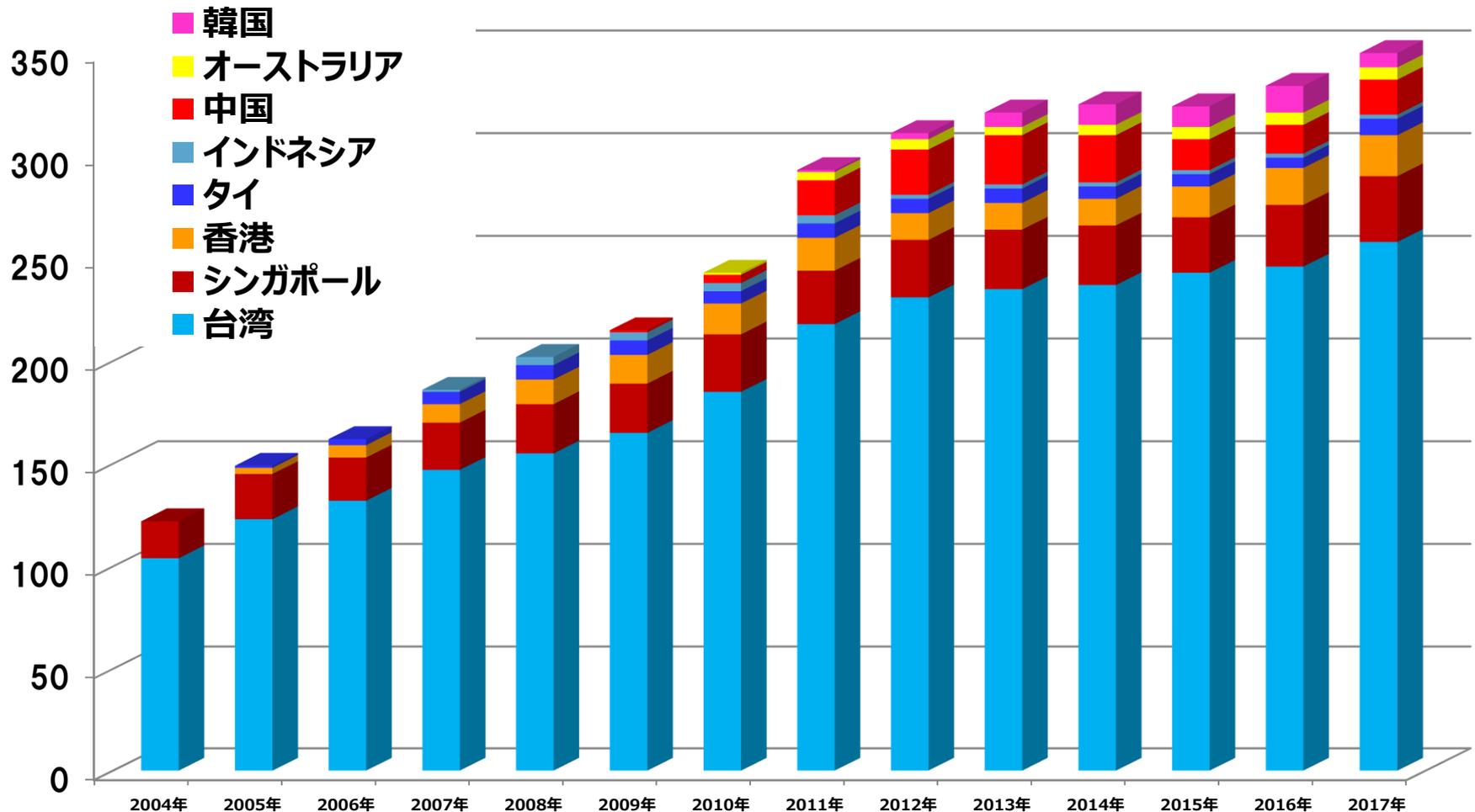
2006年～「キッズニア東京」出展



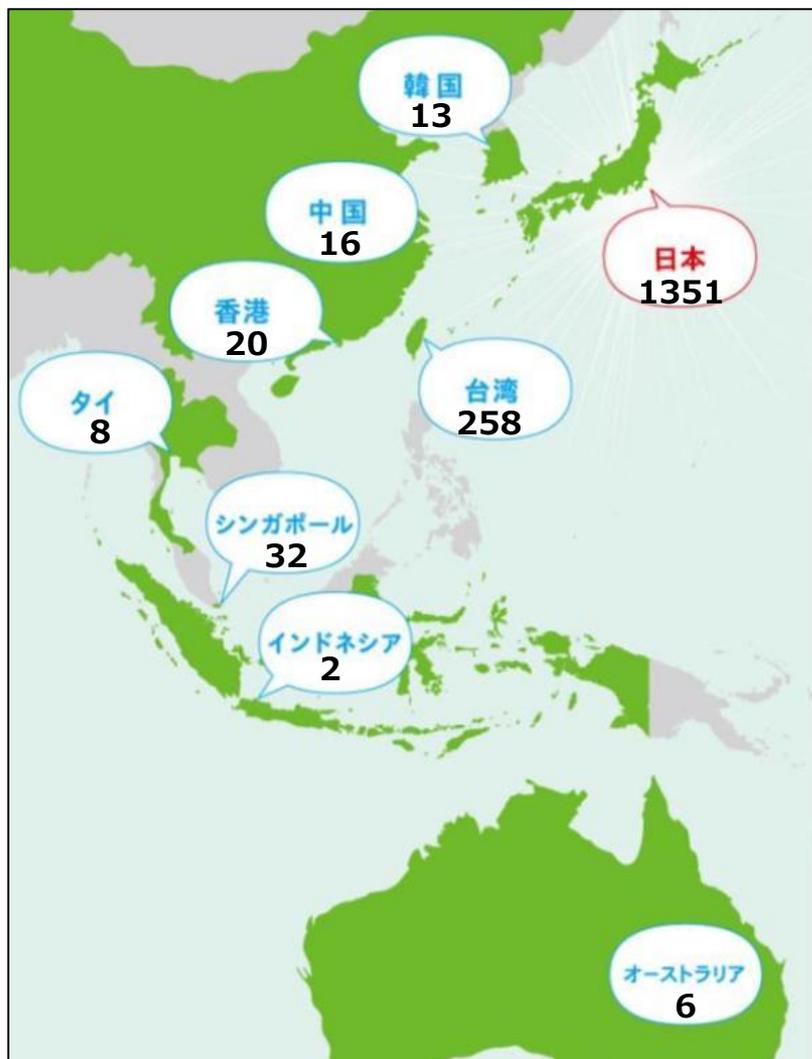
「ハンバーガーショップ」パビリオンを通じて
職場体験の場を提供

海外のモスバーガー 1

8つの国と地域に356店舗展開中 (2017年12月末現在)



海外のモスバーガー 2



販売商品について

モスバーガー等の定番商品に加え、現地の食習慣に合わせたオリジナル商品を提供

【台湾】

とり天バーガー、とり天ライスバーガー



【オーストラリア】
SUSHIバーガー



【インドネシア】
トマトバーガー



その他の飲食事業 1

(店舗数：1月末現在)

■ レストラン

「四季の旬彩料理 あえん」6店舗展開

旬菜料理のレストラン。素材の味わいを生かした新しい「食」の世界を提供

「シェフズバイ」「グリーン Grill」計3店舗展開

ベジタブルレストラン。野菜を生かした魚料理や肉料理を提供

「ミア クッチーナ」2店舗展開

季節感のあるバラエティ豊かなメニューを提供するパスタ専門店

「モスクラシック」1店舗展開

グルメバーガーとお酒が楽しめるハンバーガーレストラン



■ 紅茶専門店

「マザーリーフ」14店舗展開

摘みたて紅茶とアメリカンワッフルを提供するフルサービススタイルのお店

「マザーリーフティースタイル」10店舗展開

種類豊富なワッフルや軽食と合わせ紅茶を楽しむセルフスタイルカフェ



その他の飲食事業 2

■ 国際線機内食

2011年より7年連続でJALとコラボ
期間限定機内食を開発 『AIRMOSシリーズ』

第1弾 「テリヤキバーガー」

第2弾 「ライスバーガー」(きんぴら)

第3弾 「テリヤキたまごバーガー」

第4弾 「モス野菜バーガー」(キャロットソース)

第5弾 「モスバーガー」

第6弾 「モス野菜バーガー」(玄米みそとゴマソース)

第7弾 「焼肉ライスバーガー」

(2017年6月1日～8月末まで)



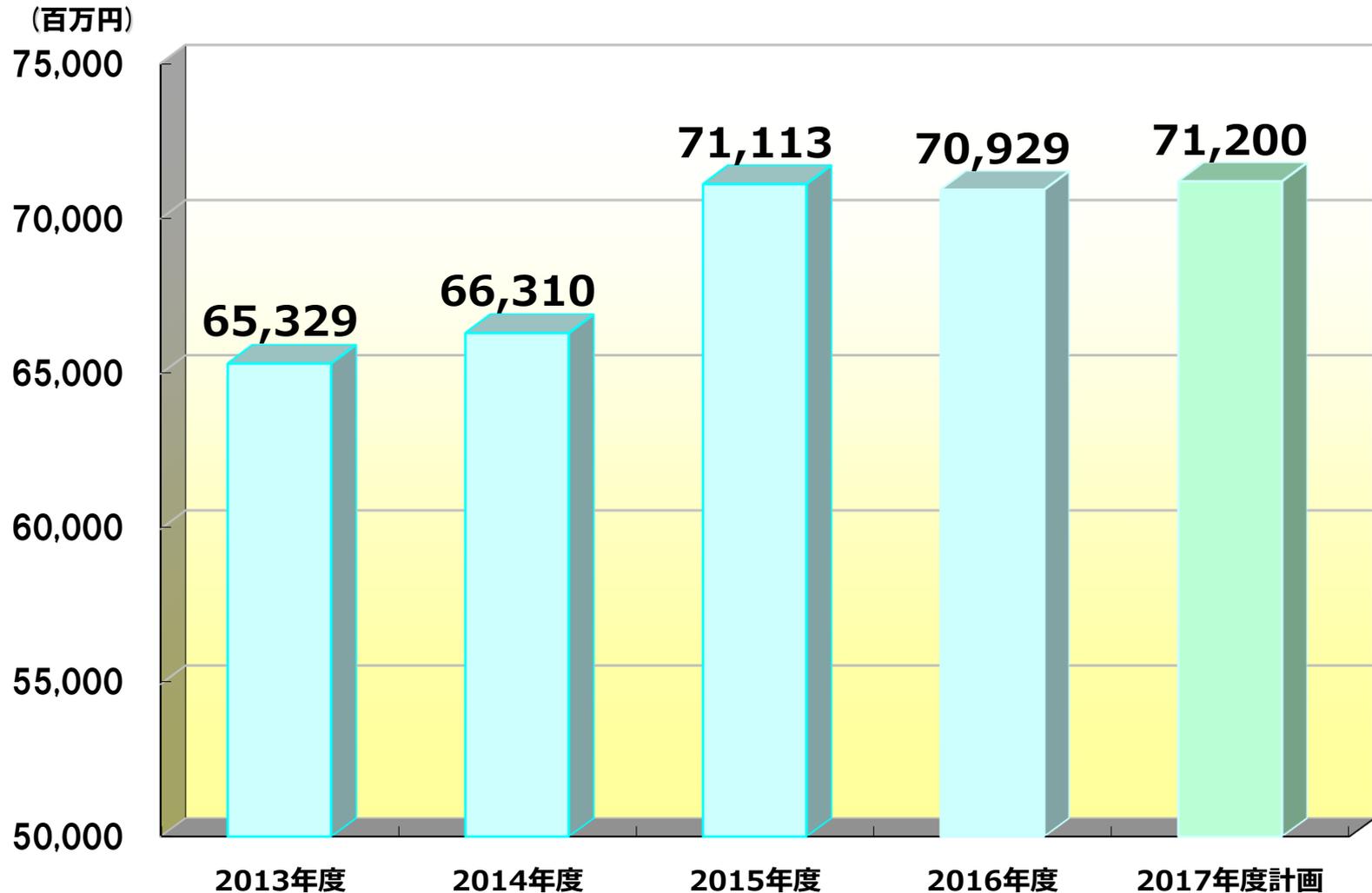
業績サマリー

モスバーガー売上前年比の推移（既存店）

（単位：％）

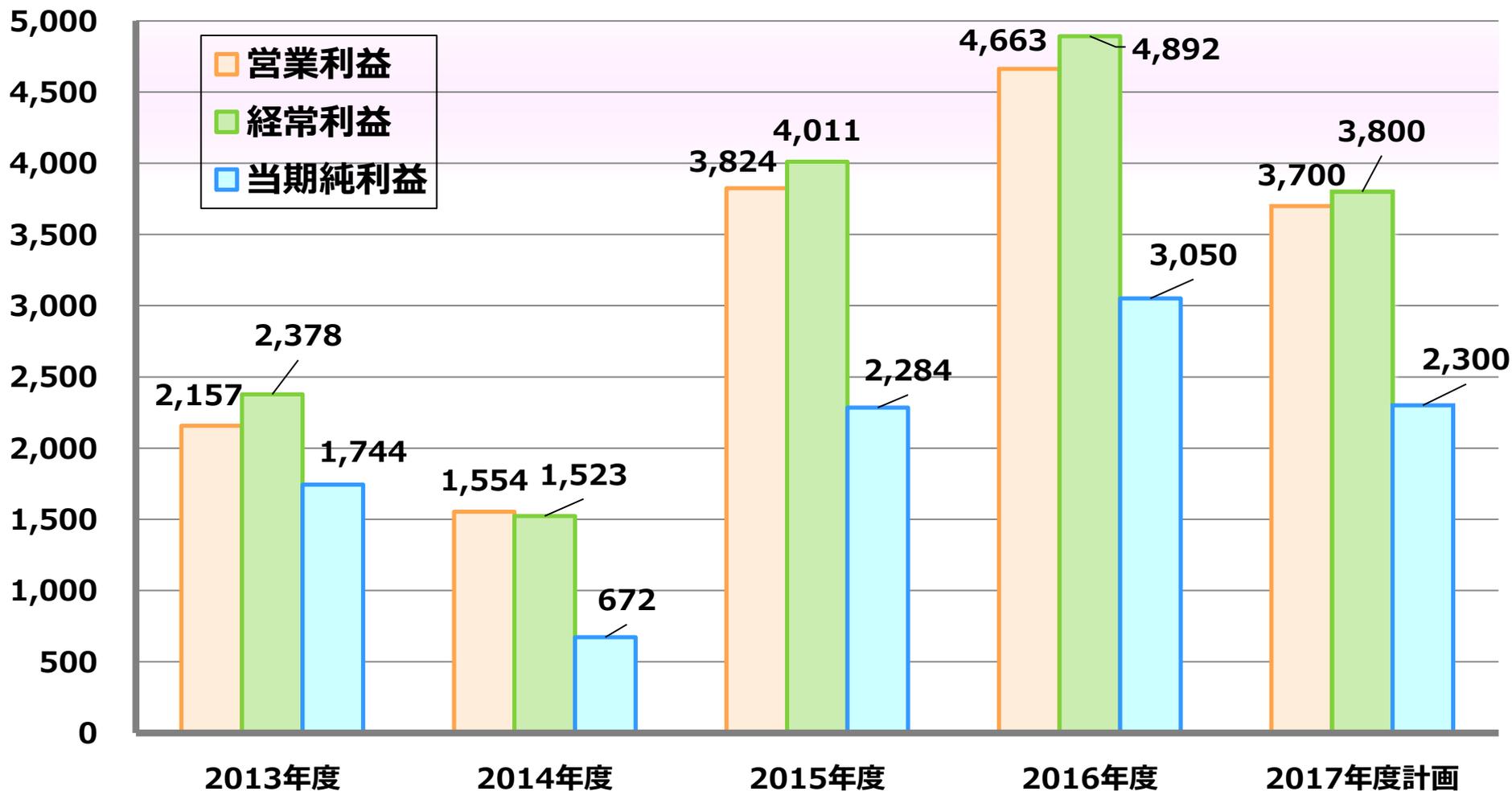
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通期
2016	109.0	105.2	104.3	105.2	95.5	103.5	100.5	94.3	98.8	97.3	89.1	98.7	100.0
2017	102.3	96.5	103.4	100.3	99.4	103.8	99.3	101.4	101.5	101.0	—	—	100.8

モスフードサービス連結売上高推移



モスフードサービス連結損益推移

(百万円)



配当及び株主優待制度

■ 配当金・配当性向推移

年度	2015年度	2016年度	2017年度 計画
年間配当金	24円	26円	26円
配当性向	32.4%	26.3%	34.8%

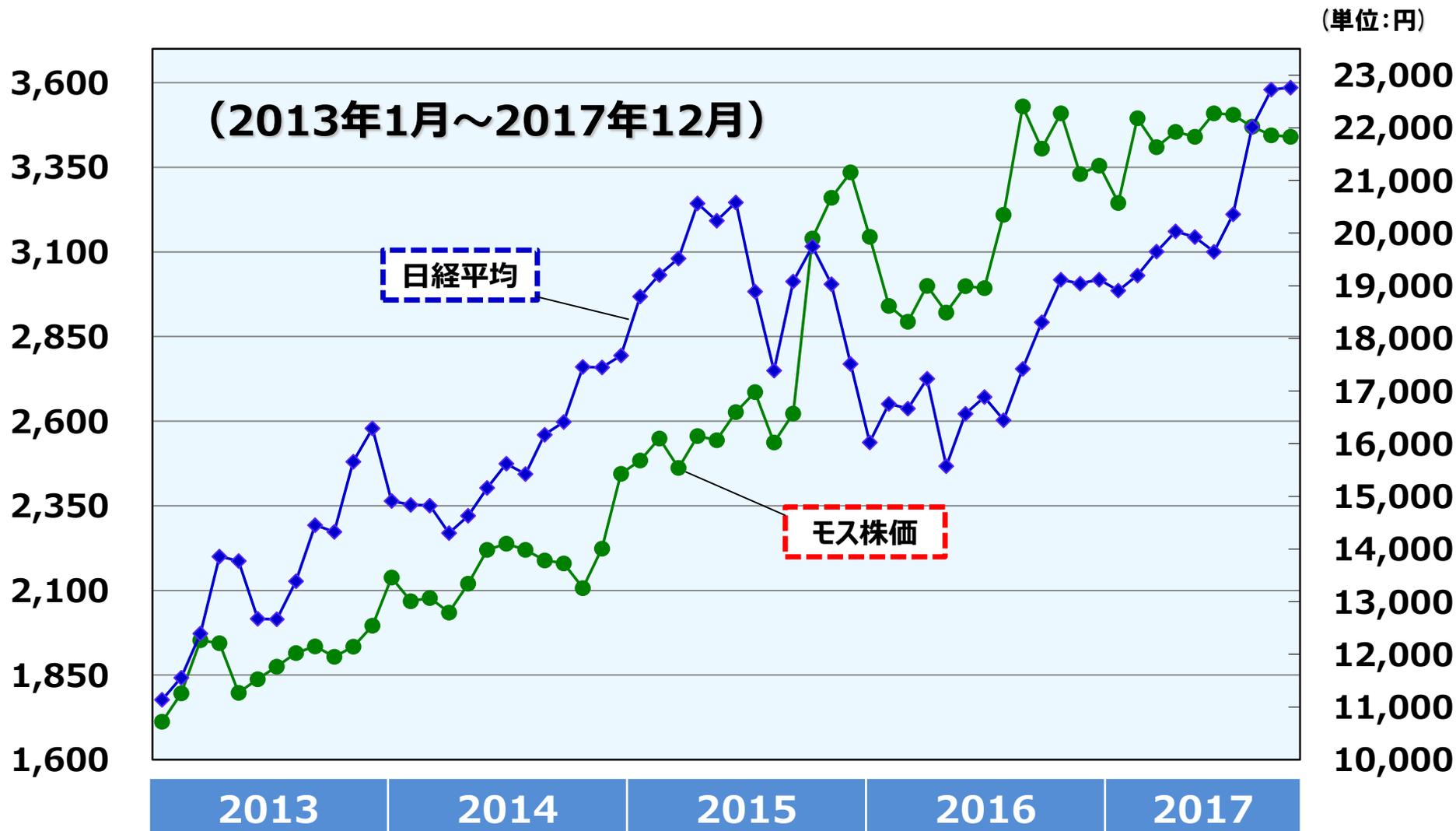
■ 株主優待

- 100株以上500株未満…………… 2,000円
(500円×2枚×年2回)
- 500株以上1,000株未満… 10,000円
(500円×10枚×年2回)
- 1,000株以上 …………… 20,000円
(500円×20枚×年2回)



●モスバーガーとミスタードーナツで相互利用が可能●

株価（月足）の推移



ご清聴ありがとうございました。

PICK Up Menu ! 2月6日 (火) ~

マルデピザ



本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは、大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

◀本資料に関するご照会先▶ 株式会社モスフードサービス 広報IRグループ E-mail : ir@mos.co.jp